

授業計画書(シラバス)

教科名	キルンワークⅡ	曜日 時間	木、金: 9:10～15:50	担当教員名	准教授 松藤孝一
-----	---------	----------	--------------------	-------	-------------

	前期指導案		後期指導案	
(年間 2回 4回 授業 日)	4月	16(休講) 17(休講) 23 24(オンライン)	10月	/
	5月	7 8 14 15 21 22 28 29 (オンライン)	11月	/
	6月	4 5 11 12 18(追加) 19(追加) 25 26	12月	/
	7月	2 3 9 10	1月	/
	9月	3 4	2月	/
方授 法業	(講義 ・ <u>実技</u>)		(講義 ・ 実技)	
授 業 内 容	<p>以下の課題を通して授業を進めていく。 課題1-キルンワーク:素材の探求 この課題は、ガラスの研究である。1年次に発見した素材や技法からスタートすることも可能で、学生が様々な角度から素材や技法を見つめ直し、研究に取り組む。必ずしも、素材や技法ベースで始める必要もない、コンセプトをどうにかたちで素材に転化できるのかも重要なアプローチである。視覚的に手を動かすだけではなく、思想的な要素も研究の対象である。</p> <p>名古屋芸大での連携講評会、そして富山市ガラス美術館での作品展示、最終的に前期の全体講評会で完成度のあるキルンワーク作品を発表する。</p> <p style="color: red;">オンライン授業に伴う実習時間の不足分は通年で補講を検討</p>		/	
到達 目標	この授業では、完成度のあるガラス作品が目標である。完成度とは、ガラス(素材)の最終仕上げや見せ方、コンセプトなどを追求した作品である。またアーティスト・ステートメントの作成を通して、自分のガラス芸術に対する考えや狙いを明確にすること。		/	
成績 評価 基準	成績評価の基準は以下の通りである。 積極的な授業への参加／意欲的な学習態度／課題の完成度／提出期限の厳守／授業の目標水準の到達／個人の成長度／出席状況など。		/	
留意 事項	作品制作に先立つアイデアスケッチや研究で収集した資料など全て作品と同様に評価の対象となるので手を抜かないこと。常に自分のテーブルとその周りを責任もって管理し、石膏室やワックス室等を使用した後はきちんと清掃を行うこと。		/	